

現地受入体制

工学院大学では、参加者に対して十分なオリエンテーションを行ない参加者の留学に対する認識を深めます。現地においては提携校日本人スタッフが、生活に関する相談や、怪我・病気等に対して支援を行います。

参加費用

留学費用（2019年度実績）

留学中必要と思われる経費は概ね以下のとおりです。

ホームステイ費用 (ホームステイ所在場所により異なる)	£1,850 - 2,300
交通費、昼食代 (ホームステイ所在場所により異なる)	£800 - 1,100
フィールドワーク時の交通費、教材費等	£300程度

※過年度実績であり、留学先の物価変動や料金改定、為替レートの変動、燃油価格の変化等により料金は変化します。

渡英費用（2019年度実績）

渡英にかかる費用は概ね以下の通りです。

航空運賃 (ロンドン往復。燃油、空港税含む。)	¥238,610
海外旅行保険 (本学指定。大学特別契約制度)	¥74,476

プログラムスケジュール（予定）

本プログラムに参加申込するためには、『募集説明会』への出席が必須です。必ず出席し、プログラムの概要と参加申込方法から手続開始、出発までの詳細な情報を確認してください。
各説明会の詳細は1ヶ月前までに、本学WEB掲示板キューポートにて案内します。

3年次4月上旬	募集説明会（新宿キャンパス 対象：新3年生と保証人/1・2年生参加可） 注）当年度の参加申込予定者は 出席必須 です。
3年次4月上旬	参加申込開始
3年次4月中旬	参加申込締切
3年次4月下旬	当年度実施の可否確定、参加者確定 注）最少実施人数に満たない場合は当年度実施を見送ります。最大実施人数を超えた場合は参加者を選考します。
以降、順次実施	手続説明会（履修登録、留学手続、航空券、海外旅行保険等の手続・案内） 出発説明会（出発の案内）、ステイスタディ、TOEIC受験
3年次9月上旬	渡英
	現地説明会 授業開始
3年次12月上旬	帰国
帰国後	TOEIC受験（1月）、成果発表会（4年次4月上旬、次年度募集説明会同日）

滞在中の個人旅行について

昨今の世界情勢を考慮し、下記の通り、個人旅行を制限します。

1. 留学期間中全てを通して、イギリス国外への旅行は日帰りも含め禁止とする。
2. その他、留学期間中のイギリス国内旅行に関しては、募集説明会で配布する別紙規定を厳守すること。

プログラム実施に際しての注意点（※重要）

・本プログラムには参加人数による『最少実施人数』と、『最大実施人数』が設定されています。

『最少実施人数』15名

参加人数が15名に満たない場合は、その年のプログラム実施は見送ります。

『最大実施人数』40名

参加申込数が40名を超えた場合は、学部の判断により参加者の選考が行われます。

・国際情勢や現地協定校等の事情により、プログラムを実施できないことがあります。

大学教育再生加速プログラム

Voice

参加者の皆さんの声

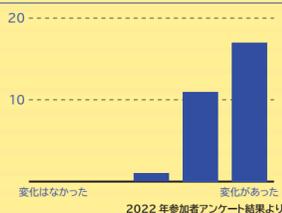
平成27年度 文部科学省「大学教育再生加速プログラム」採択
2016年度 関東工学教育協会賞（業績賞）受賞
2016年度 日本工学教育協会「工学教育賞」受賞

Q. ハイブリッド留学に参加して良かったと思いますか？

100%

ハイブリッド留学に参加してみようと思った
2022年参加者アンケート結果より

Q. ハイブリッド留学に参加して生活や価値観に変化はありましたか？



工学院大学独自のユニークな留学制度

一般的な留学は金銭的にも語学力の基準としてもハードルが高いですが、**ハイブリッド留学はそれらのハードルが低く、参加しやすく工夫されています。**留学期間中はなるべく自分の足でいろいろな場所を訪れ、見て触れて学ぶことを心がけていました。そうしているうちに海外のランドスケープに興味を持つようになりました。将来は海外の大学院で学ぶことも考えています。また、**学科の垣根を超えて仲がいい友達**ができたことも、このプログラムのメリットの一つだと思います。いろいろな人に参加してもらい、「自分の好きなこと」を追求してもらいたいです。（まちづくり学科卒・大学院建築学専攻）



先生と訪れたフィールドワークが印象的でした

現地で受講した授業が印象に残っています。例えば、世界で最初の田園都市である英国のレッチワースは、名前を聞いたことのある場所でしたが、**フィールドワーク先として先生と一緒に訪ね、現地で講義を受けられたのは、貴重な経験**でした。また、帰国後も留学に参加した仲間と一緒にコンペに挑戦したのは、留学から影響を受けてのことです。参加を検討している学生は、ぜひ飛び込んでみてください。（まちづくり学科卒・大学院建築学専攻）



2019年度参加学生

1, 2年生のうち建築で学んだことが、こちらの授業を受けている中で、**役に繋がってきた。**例えば、建築材料で学んだ言葉は、今回の授業の中でも出て来た。（まちづくり学科）

日本から一歩外に出ると今までと大きく異なった世界が広がっていることを実感した。もしまた留学に行ける機会があったら、別の国に行き、今回の経験と照らし合わせながら新しい自分を発見したい。（建築デザイン学科）

ホームステイ先で1ヶ月間一緒に生活したイタリヤの学生と友達になった。ロンドンなどに毎週出かけて、**共に時間を過ごす中で、将来の悩みやお互いの国のことをたくさん話したことが思い出。**（建築デザイン学科）

自発的に英語でコミュニケーションを取ろうとしたことで、**人に話しかけることの抵抗がなくなった。**（建築学科）

工学院大学のグローバル戦略

工学院大学は、少子高齢化・内需減少が予測される中、大学に改革が求められていることから、日本に留まらずグローバルに活躍できる新の国際人育成を図るため、学内に「グローバル事業部」を設置。様々な「グローバルプログラム」を開発し展開しています。

ご質問・ご不明な点は下記までメールにてご連絡ください。

工学院大学 KOGAKUIN UNIVERSITY
グローバル事業部 Global Projects Department
〒163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2
1-24-2 Nishi-Shinjuku Shinjuku Tokyo
TEL:03-3340-0939 FAX:03-3340-0141
E-Mail: global@sc.kogakuin.ac.jp
URL: www.kogakuin.ac.jp

Globalization, It is not a Desire, It is a Requirement.

まず海を渡る!

全てをそこから始める!

英語力不問・現地授業料不要の留学



英語力に不安があっても大丈夫!



建築学部

ハイブリッド留学

留学国 イギリス

日本にないことが学べます!

本学授業科目は日本語、生活はホームステイで英語、というハイブリッド環境による3年後期に実施する14週間の英国留学



2019年度参加学生

「ハイブリッド留学プログラム」とは…

「まず語学の修得から」というこれまでの留学スタイルから脱却し、留学のハードルを下げ、「まず海を渡る」ことを最優先させ、海外の「現場」で、「数多く」の「様々な経験」を積んでいくことにより、Architectとして必要な海外での経験値を上げながら、英語やグローバルな思考が自然に身につくよう開発したプログラムです。

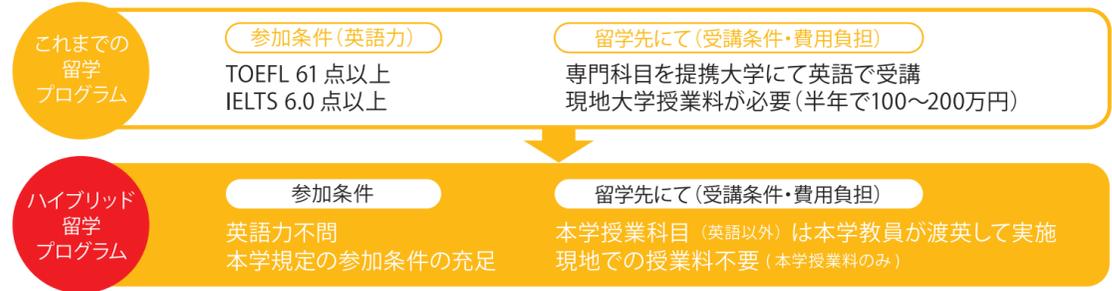
今までの留学プログラムとの違いは？

従来の大学における留学プログラムは、留学中の授業の遅れや単位不足による留年を防ぐため、その必要最低限の科目を現地協定大学等に所属し、協定大学等の開講する専門科目を現地言語にて履修し、帰国後その単位を認定するという方法が一般的でした。そのため留学に際しては、まず協定大学への入学必須条件として語学力判定テスト(TOEFLやIELTSなど)での一定以上の基準点獲得が必要となり、さらに協定大学での授業料も徴収されるため、参加するハードルが高く、留学が身近なものとして捉えることはできていなかった。

ハイブリッド留学は、「語学力と経済的負担」という留学にまたがる2つの大きな壁を取り除き、『まず海を渡らせる!』ことを最優先にしました。最大の特徴は、英語以外の本学授業は本学教員を現地へ派遣して日本語で実施、日常生活は全て英語で過ごすというハイブリット環境による留学という点です。留学へのハードルを下げ、アーキテクトとして必要な海外での経験値を上げながら、英語やグローバルな素養が自然と身につくようにしています。

まず海を渡らせ、海外の「現場」で、「数多く」の、「様々」な経験を積ませていくことにより、いかなる場面でも対応できる柔軟な発想と行動力を身につかせ、どのような状況であろうと自分で判断し、解決策を見出し、そして解決していく力を育成していきます。

本取組みは平成27年度文部科学省「大学教育再生加速プログラム」に採択されるなど、国はもちろん各方面からも注目されています。



プログラム対象学部、学年、留学時期・期間

対象学部 建築学部 対象学年 3年生 留学時期・期間 9月上旬~12月上旬まで約14週間

本学授業科目は日本語で実施

イギリスにて開講する本学授業科目の実施形態は次のとおりです。

- ・オンライン授業
- ・授業担当教員が日本から渡英して実施する対面授業

現地開講授業科目

募集説明会で配布される資料を確認してください。

現地での具体的な履修例

第1週	現地説明会	第8週	本学授業科目
第2週	本学授業科目	第9週	本学授業科目
第3週	提携校による英語授業	第10週	提携校による英語授業
第4週	提携校による英語授業	第11週	ブレイクウィーク
第5週	本学授業科目	第12週	本学授業科目
第6週	本学授業科目	第13週	本学授業科目
第7週	提携校による英語授業	第14週	本学授業科目

現地での1週間のスケジュール例

本学授業科目実施時				
	1限	2限	昼休み	3限
DAY1	授業	授業	昼食	授業
DAY2	授業	授業	昼食	授業
DAY3	授業	授業	昼食	授業
DAY4	授業	授業	昼食	授業
DAY5	授業	授業	昼食	授業

提携校英語授業実施時				
	1限	2限	昼休み	3限
DAY1	英語授業	英語授業	昼食	各自でフィールドワーク
DAY2	英語授業	英語授業	昼食	各自でフィールドワーク
DAY3	各自でフィールドワーク			
DAY4	英語授業	英語授業	昼食	各自でフィールドワーク
DAY5	英語授業	英語授業	昼食	各自でフィールドワーク

授業は1科目1週間程度での超短期集中講義で実施

1科目1~2週間程度(1日3~4コマ)での実施を繰り返す



プログラム参加に際しての注意点(※重要)

1. 申込・参加条件
 - (1) 参加にあたっては、各学部で選考を行い参加不適切と判断された場合は、参加不可となります。また、場合によっては面談を実施し、参加の可否を決定します。
 - ①各学科別要件
 - ◎応募時点で以下の条件を満たしていること
 - ・3年次科目履修条件を満たしていること
 - ・2年次までの必修科目を全て修得
 - ②心身共に健康で成績優良の者
 - ・プログラム期間を通し、学習や現地の生活に耐えうる心身の健康状態にあり、またプログラム終了までその健康状態を自己管理のことで維持することができること。
 - ・持病・既往症及び通院履歴等がある場合、健康上プログラムの参加に支障がないと医師の診断を受けていること。ただし、医師の診断があっても、工学院大学もしくは派遣先機関やホームステイ受入先の判断によっては、参加が認められない場合があります。
 - ・その他、募集説明会で提示される事項について必要な申告・対応を行うこと。申告内容に虚偽が見つかりプログラム申込後に参加不可と判断された際に発生する諸取り消し費用は、本人負担となります。
 - (2) 募集説明会に出席し、提示された申込・参加要件を理解し、厳守を誓約できる者
2. やむを得ない理由によりプログラム途中で帰国する場合でも、修得単位不足のため進級が困難となる場合があります。

英語教育は提携校と連携して実施

英語力強化は必須課題です。現地における英語の授業は現地語学教育機関が留学中の14週間を有効に活用した内容で実施します。現地提携校は英国大学入学を希望する外国人留学生に対して英語を教える『英語専門コース』を設置しており、非ネイティブスピーカーの学生の指導に定評があります。

取得する査証(ビザ)

本プログラムは、現地提携校と連携し、「Standard Visitor visa」を取得して入国します。

- Standard Visitor visaの特徴**
- 6ヶ月未満の留学であれば渡英前の査証申請の必要なし
 - 就労不可(無給を含む)
 - ビザの延長不可
 - 英語レベル不問

現地提携校コンコルドインターナショナル(Concorde International)

世界遺産群の街、英国カンタベリー市の中心に位置する比較的大規模展開の語学(大学進学準備)学校です。British Council・English UKの機関により、私立英語学校として『Accreditation UK』のライセンスを取得しており、信頼性も高く、40か国以上から留学生を受け入れています。年間を通して様々な英語コースを展開、大学進学準備コースやパイロット育成コースなど、ユニークなコースも好評を得ています。

【名称】Concorde International(私立)
 【所在地】Arnett House, Hawks Lane, Canterbury, Kent, CT1 2NU, UK
 【設立】1972年
 【学生数】120~250名
 【URL】http://www.concorde-int.com/



留学地(滞在地) カンタベリー

ケント州カンタベリーは緑豊かなケント州にあり、ロンドンから新型ハイスピード列車で約1時間の所に位置します。カンタベリー市内にある世界遺産カンタベリー大聖堂は、古くから信仰のふるさととされ、チャーサー物語にもあるように多くの巡礼者が訪れた町として有名で、現在でも多くの観光客が大聖堂や町に点在する歴史的建造物を訪れています。また、大学やカレッジが多く集まり、安全な学生の集まる町として知られています。



カンタベリーはスーパーやデパート、ショッピングモールをはじめ、ファーストフード・カフェ等のチェーン店や個人店のほか、病院や市の図書館、イングリッシュガーデン(公園)、映画館や劇場などのエンターテインメント施設が徒歩20分圏内に充実した、便利で住みやすい町です。



留学中の生活(ホームステイによる滞在です)

留学中はできる限り多くの時間、生の英語に触れてもらうこと、現地在住者と生活を共に過ごすことによりイギリスの文化や風習を吸収してもらうこと、参加者の日々の安全確認等を考慮し、滞在期間全てを通してホームステイによる滞在となります。滞在中は原則として日本人のいない家庭となります。ただし、その年の現地状況等により、日本人学生2名で1家庭に滞在する時期が発生しうることを、予めご了承ください。ホストファミリーはプリティッシュカウンシルの厳格な選定基準をパスし、かつ現地提携校が選定したホストファミリーで、留学生の受入を積極的に行っているファミリーです。滞在中はホストファミリーにより、朝食および夕食の提供があります。ただし、食事はファミリーが作ってくれることもありますし、自分で作ることもあります。授業は月曜から金曜まで、ほぼ毎日あります。通学は公共のバスを利用します。

